

## カチオン系シーラーレスフィラー

# ベスコロフィラーHG

### 1 素地への付着性が良好

特殊カチオン系樹脂により付着性に優れたシーラーレスフィラーです。

### 2 素地の目止め効果

厚膜のため、肉痩せしたスレートを甦らせます。

### 3 上塗りの光沢が良好

滑らかな肌を形成するため、上塗りの艶のりが良好です。

### 5 優れた塗装作業性仕上がり性

ハケ塗り、ローラー塗り、エアレス塗りができる、ハケ目やローラー目が目立ちません。

### 4 優れた安全性

水系のため、引火や中毒の危険性がなく、臭いの少ない環境に優しい塗料です。



塗装前



下塗り塗装



上塗り塗装



ベスコロフィラーHG

おどろきの艶に!

#### 【用 途】

■化粧スレート瓦(カラーベスト・コロニアル)・セメント瓦

#### 【塗装仕様】

■0.20~0.50kg/m<sup>2</sup>/1回

■水希釈率: 0~10%

■塗り重ね可能時間: 16時間以上

#### 【容 量】

■20kg

#### 【色 相】

■白

■グレー



スズカコアアイコ

| 工程       |           | 塗料   | 調合(重量比)     | 標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回) | 塗回数 | 塗装間隔(23℃)                | 塗装方法                     |
|----------|-----------|--|-------------|-----------------------------|-----|--------------------------|--------------------------|
| 1        | 素地調整      | ●素地表面の脆弱層、劣化旧塗膜、ごみ、汚れ等を高圧水洗で除去する。<br>(特にスレート瓦の板と板の隙間は入念に清掃する。)<br>●素地は十分に乾燥させる。(1日以上放置する。) |             |                             |     |                          |                          |
| 2        | 下塗り       | ベスコロフィラー-HG<br>清水  | 100<br>0~10 | 0.20~0.50                   | 1   | 16時間以上                   | はけ塗り<br>ローラー塗り<br>エアレス塗り |
| 3<br>上塗り | 1液弱溶剤系の場合 | 1液ワイドシリコン<br>塗料用シンナー   | 100<br>5~15 | 0.12~0.16                   | 2   | 16時間以上<br>最終養生<br>24時間以上 | はけ塗り<br>ローラー塗り<br>エアレス塗り |
|          |           | 1液ワイドシリコン遮熱α<br>塗料用シンナー  | 100<br>5~15 | 0.12~0.16                   | 2   | 16時間以上<br>最終養生<br>24時間以上 | はけ塗り<br>ローラー塗り<br>エアレス塗り |
|          | 2液弱溶剤系の場合 | ワイドエポーレF<br>塗料用シンナー  | 100<br>0~20 | 0.10~0.16                   | 2   | 16時間以上<br>最終養生<br>24時間以上 | はけ塗り<br>ローラー塗り<br>エアレス塗り |
|          |           | ワイドエポーレSi<br>塗料用シンナー   | 100<br>0~20 | 0.10~0.16                   | 2   | 16時間以上<br>最終養生<br>24時間以上 | はけ塗り<br>ローラー塗り<br>エアレス塗り |
|          |           | ワイドシリコン遮熱α<br>塗料用シンナー  | 100<br>0~20 | 0.12~0.16                   | 2   | 16時間以上<br>最終養生<br>24時間以上 | はけ塗り<br>ローラー塗り<br>エアレス塗り |
|          |           | ワイドルーフ<br>塗料用シンナー  | 100<br>5~20 | 0.12~0.16                   | 2   | 16時間以上<br>最終養生<br>24時間以上 | はけ塗り<br>ローラー塗り<br>エアレス塗り |
|          | 1液水系の場合   | 水性ベスコロ<br>清水   | 100<br>3~10 | 0.12~0.15                   | 2   | 2時間以上<br>最終養生<br>24時間以上  | はけ塗り<br>ローラー塗り<br>エアレス塗り |

### 塗装上の注意事項

- 本材料は非歩行タイプです。
- 5℃以下、湿度85%以上または結露が懸念される場合は、塗装を避けてください。
- 塗装面は、十分に乾燥している(含水率10%以下、pH10以下)ことを確認してください。
- 降雨・降雪・結露が予想される時、強風の時などは塗装を避けてください。
- 塗料は十分にかくはんしてから使用してください。
- 他の塗料や所定以外のシンナーの混合は避けてください。
- 仕様の数値は標準のものです。素地の状態、塗装条件などにより、多少異なることがあります。
- 各工程の塗装間隔は、所定の時間を厳守してください。また、冬場や山間部などで、夜露が早く降りる地域では、塗装を早めに終え乾燥時間を確保してください。
- エアレス塗りの場合、特に塗装ミストの飛散には留意してください。汚染・臭いのトラブルの出ないように、十分な養生を行い、また風向きなどを考慮して塗装してください。
- 溶剤系塗料の場合、開口部などから溶剤蒸気が室内に入らないように目張りなどをしてください。
- 既存塗膜の劣化が著しい場合は、ガムテープによるテープング試験で付着性をチェックしてください。
- 洗浄機などによる水洗い後の屋根は滑りやすいので、足元にご注意ください。
- 取付け金具等の金属部分は必ずエボラブなどでさび止め処理を行ってください。
- うすめ過ぎは、たるみや造膜不良などを起こすことがありますので、注意してください。
- シーリング材上への直接塗装は、影れ、剥がれやブリード汚染の恐れがありますので、極力避けてください。
- 塗装される場合はシーリング材をノンブリードタイプとするか、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。
- 新生瓦で、上下の板の重なり部にすき間が少ない場合は、塗装前にスペーサー部材(タスペーザーなど)を挿入し、排水機能を維持してください。塗装後にやむを得ず皮スキなどで縁切りする場合は、塗膜を傷めないように十分注意してください。
- 塗膜乾燥初期の降雨により、塗膜から界面活性剤が溶出し、雨水が集中する箇所で泡の発生、COD値上昇の可能性があります。雨水が河川に流入する恐れがある場合、地域の排水基準に則した管理を行ってください。
- 塗膜上に鳥の糞、砂、泥、有機物(木の葉)、金属(くぎ)などを放置すると、塗膜の変色、剥離などの悪影響を及ぼします。その都度清掃してください。
- ベスコロフィラー-HGはカチオン系ですので、一般塗料と絶対に混ぜないでください。また、一般水系塗料に用いたはけ・ローラーなどの塗装器具を共用されますと固まることがありますので避けてください。

### 取扱い上の注意事項

- 製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載しておりますので、必ずお読みいただき、正しく安全にご使用ください。特に引火性及び有害の危険がある製品は、十分に注意し、安全対策を行ってください。
- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を使用してください。(防塵マスク、頭巾、保護めがね、長そでの作業衣、えり巻タオル、保護手袋、前掛けなど)
- 容器から取り出すときには、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化がある時は、医師の診察を受けてください。
- 蒸気、臭いなどを吸い込んで気分が悪くなつた時には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ時には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は手洗い、うがい、鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手のとどかない一定の場所を定めて保管してください。特に下記場所の保管は避けてください。  
(雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れるある場所など)
- 詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- カタログに記載されていない下地や仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用前に最寄りの事務所へお問合せください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎ 059-397-2187 FAX 059-397-6191  
 研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塙浜町1 ☎ 059-346-1116 FAX 059-346-4585  
 札幌支店 ☎ 0133-60-6311 東京支店 ☎ 03-5661-2211 名古屋支店 ☎ 052-411-1255  
 大阪支店 ☎ 072-862-1601 広島支店 ☎ 082-277-1116 四国支店 ☎ 0877-24-4621  
 九州支店 ☎ 092-938-0071 取扱店